

『生駒経済論叢』の発刊に寄せて

平成15年4月、50有余年の歴史と伝統を誇る近畿大学商経学部は発展的に経済学部と経営学部に分離改組され、二学部体制となりました。これを機会に、経済学部では、学部の紀要として、新たに『生駒経済論叢』（年3回）の発刊を決めました。本号は創刊号であります。

改組の趣旨は、激変する社会のニーズに対応するために、学部規模を適正化し、学部機能の強化・充実によって専門性を高めるとともに、幅広い教養を持った総合力のある、時代を切り拓き、社会に貢献できる人材の育成を改めてめざすことになったと言えます。新学部のスタッフは、「未来志向の実学教育」と「人格の陶冶」と言う本学の建学理念を堅持しながら、従来に増して、より特色ある教育・研究を展開すべく、決意を新たにしているところです。

経済学部は経済学科（経済学コース、国際経済コース）と総合経済政策学科（新設）からなります。新生・経済学科は従来の経済学科を継承するものですが、コース・分野別に系統的な履習体系に改めました。経済学コースは、理論・数理経済、財政・金融、産業経済、歴史の四分野を設けています。国際経済コースは、国際ビジネスにつながる専門知識の修得、ビジネス英会話力の育成、高度な情報処理能力の修得を三本柱とし、国際舞台を強く意識した少人数教育に特色があります。

全国的にもユニークな総合経済政策学科は国民経済と地域経済の二分野に分かれ、経済学の理論を核に、政治や法律などを含めた幅広い視点から、多彩な政策論を総合的かつ実践的に学び、時代の要請である明確な政策立案能力を持ったリーダーの育成を課題としています。

私たちは、商経学部の良き伝統を継承しつつ、新たなコンセプトで経済学部の発展に力を合わせて取り組んでいます。“魅力ある学部”をモットーに邁進して参ります。ここ数年、公募により全国から多数の優秀な人材を迎え

ることができ、改組分離後の新学部は活気に溢れています。各教員の旺盛な教育・研究活動は、経済学部の新しい歴史を築くうえで最大の原動力となる筈です。大いに期待したいと思います。

最後に、新学部発足の多端な折にもかかわらず、ご寄稿いただいた各執筆者にお礼申し上げるとともに、編集委員会メンバー各位の労に対し、心から謝意を表する次第です。

平成15年10月吉日

近畿大学経済学部長 武 知 京 三